

みずほCustomer Desk Report 2023/10/02 号 (As of 2023/09/29)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	149.58
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	149.34	1.0563	157.74	1.2205	0.6427
SYD-NY High	149.50	1.0617	158.34	1.2271	0.6501
SYD-NY Low	148.53	1.0558	157.43	1.2181	0.6421
NY 5:00 PM	149.35	1.0573	158.00	1.2204	0.6435

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,507.50	▲ 158.84	日本2年債	0.0500%	0.0200%
NASDAQ	13,219.32	18.05	日本10年債	0.7600%	0.0100%
S&P	4,288.05	▲ 11.65	米国2年債	5.0509%	▲0.0125%
日経平均	31,857.62	▲ 14.90	米国5年債	4.6143%	▲0.0133%
TOPIX	2,323.39	▲ 22.12	米国10年債	4.5783%	0.0004%
シカゴ日経先物	31,850.00	▲ 175.00	独10年債	2.8370%	▲0.1295%
ロンドンFT	7,608.08	6.23	英10年債	4.4420%	▲0.0475%
DAX	15,386.58	63.08	豪10年債	4.5130%	0.0510%
ハンセン指数	17,809.66	436.63	USDJPY 1M Vol	8.69%	▲0.50%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.35%	▲0.24%
NY金	1,866.10	▲ 12.50	USDJPY 6M Vol	9.45%	▲0.22%
WTI	90.79	▲ 0.92	USDJPY 1M 25RR	▲1.16%	Yen Call Over
CRB指数	284.53	▲ 2.52	EURJPY 3M Vol	9.41%	▲0.19%
ドルインデックス	106.22	0.00	EURJPY 6M Vol	9.72%	▲0.20%

東京	東京時間のドル円は149.34レベルでオープン。仲値にかけてはドル買い優勢の展開。正午過ぎには鈴木財務相から円安けん制があったものの影響は限定的。その後、日銀が臨時の国債買い入れオペを通知すると一時149.50まで上昇した。引けにかけては上値重く推移し、持ち高調整の売りもあってか149.04まで反落。結局、149.11レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.11レベルでオープン。米10年債利回りの下落などを背景に148.53まで売られる。ただその後149.25まで反発し、149.24レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0584レベルでオープン。1.0617まで堅調に推移するも、ユーロ圏9月CPI速報値が予想を下回ったことから上値を抑制し、結局1.0595レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2239レベルでオープン。英第2四半期GDP確報値が上方修正され、1.2271まで底堅く推移し、結局1.2253レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台前半でスタート。実需に伴う買いが先行したほか、日銀による臨時の国債買い入れオペを受け、149.50まで上昇。その後は上値が重くなり、米金利低下や月末のポジション調整の売りも相まって、148.53まで反落。売り一巡後、徐々に値を戻し、149.24レベルでNYオープン。朝方に発表された米8月PCEコアデフレーター(前月比)は予想を下回り、発表直後は148.96まで値を下げるも、直ぐに149.27まで戻す。続いて発表された米9月ミシガン大学消費者マインド(確報値)が上方修正されたことや米金利が上昇する展開を背景に、149.40まで上昇。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、149.40近辺で揉み合い後、149.35レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばでスタート。米金利低下や、欧州主要株式市場の堅調な展開がサポートなり、1.0617まで上伸。その後小幅反落し、1.0595レベルでNYオープン。朝方は低下していた米金利が上昇する展開が重しとなり、1.0570付近を挟んだ狭い値動きが続き、1.0573レベルでクローズ。

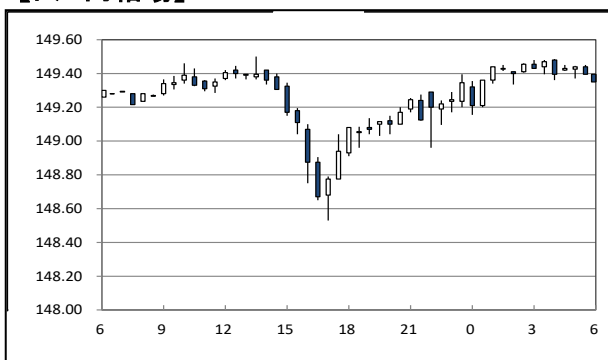
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月29日	08:30	日 東京(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	9月 2.8%/2.5%/3.8%	2.7%/2.6%/3.9%
	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q F 0.2%/0.6%	0.2%/0.4%
	18:00	欧 CPI(前月比)・速報	9月 0.3%	0.5%
	18:00	欧 CPIコア(前年比)・速報	9月 4.5%	4.8%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.1%/3.9%	0.2%/3.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 68.1	67.7
9月30日	10:30	中 製造業PMI	9月 50.2	50.1
	10:30	中 非製造業PMI	9月 51.7	51.6
10月1日	10:45	中 Caixin中国PMI(製造業/サービス業/コンポジット)	9月 50.6/50.2/50.9	51.2/52.0/-

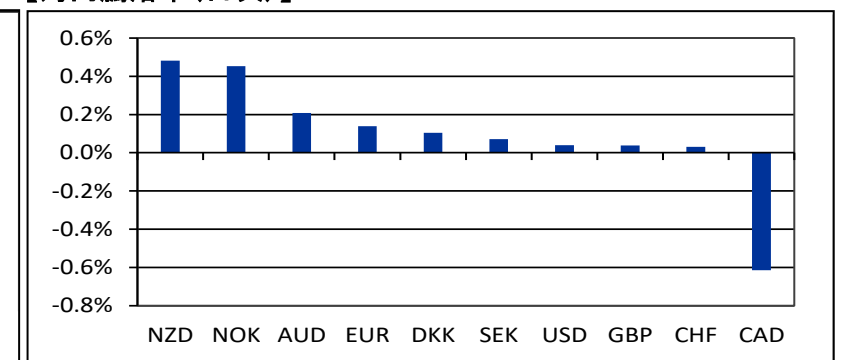
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月2日	18:00	欧 失業率	8月 6.4%	6.4%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 47.9	47.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.90-150.00	1.0480-1.0650	157.00-158.50

【マーケット・インプレッション】

先週の金曜日のドル円は乱高下する不安定な展開となった。日本時間には日銀の国債買い入れオペの報道が出ると149.50まで上昇したが、すぐに失速。海外時間に入ると、米長期金利が低下する場面ではドル売りが強まり、149円台を割り込んだが、その後米長期金利が上昇に転じると結局149.35でクローズ。

本日のドル円は高値圏での推移を予想する。米政府機関の閉鎖回避で、投資家はリスク許容度を高め、ドル買いが優勢の地合いが続くだろう。しかし、大台である150円台を前に為替介入の警戒感から同レベルを超えた急激な上昇は難しいだろう。海外時間にはパウエル議長の発言機会があり、よりタカ派的な発言があるか注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・鈴木